

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成 26 年 3 月 20 日 (2014.3.20)

【公表番号】特表 2013-532107 (P2013-532107A)
 【公表日】平成 25 年 8 月 15 日 (2013.8.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-043
 【出願番号】特願 2012-551664 (P2012-551664)
 【国際特許分類】

C 0 3 C 27/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 C 27/06 1 0 1 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 1 月 28 日 (2014.1.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 5 7 】

外側ガラス板 1 , 3 は、吸着カップによって所定位置に運ばれる。図 3 , 図 4 及び図 6 の実施形態において、外側ガラス板 1 は、例えば、コンベアベルト 10 と共に移動可能なフレームに支えられている。ガラス板 2 , 3 がガラス板 1 に寄り掛かって傾斜していることから、これらは助力なしで立っている。フレーム以外の姿勢保持手段を必要としない。だが、それにもかかわらず該工程のユーザから希望があれば、他の姿勢保持手段を提供することも可能である。他の姿勢保持手段は、例えば、内側ガラス板 2 のための掴み具である。これらの掴み具は、ガラス板の二つの面を縁部近傍で把持するか、又は、ガラス板の縁面を様々な箇所て把持する。他の姿勢保持手段は、例えば、外側ガラス板 3 については吸着カップである。このような他の保持手段は、キャビティ 8 , 9 にガスを充填する工程及び押圧工程のどちらも妨害しない。なぜなら、掴み具の寸法は、押圧工程後にマスチック 6 , 7 が注入されるスペーサ 4 , 5 , 4 ' の外縁面とガラス板の縁部との間の間隔よりも小さいからである。